

News Release



令和3年11月30日

各報道機関文教担当記者 殿

新たな価値の創出へ —融合学域 観光デザイン学類を新設—

このたび、金沢大学は文部科学省により、**融合学域 観光デザイン学類（学士課程・4年制）の令和4年4月設置が認められました。**令和3年4月、新たな学域・学類として、文理融合型の「融合学域先導学類」が始動しました。**融合学域の第2の学類として、人間社会学域地域創造学類観光学・文化継承コースを移行し、拡大・発展させた「観光デザイン学類」を設置します。**

なお、**入学定員は、今回移行する人間社会学域地域創造学類観光学・文化継承コースと同じ15名とします。**地域創造学類の入学定員に変更はありません。

観光デザイン学類の新設に伴い、融合学域における令和4年度入学者選抜を別紙のとおり変更します。

本学類の**出願受付は、特別選抜にあっては令和3年12月16日（木）から、一般選抜にあっては令和4年1月24日（月）から開始します。**

複雑化・多様化するさまざまな社会的課題を解決するためには、“イノベーションの創成をリードする中核的リーダー”となる人材が不可欠であり、観光デザイン学類では、文系・理系などの従来の枠組みにこだわらない、人文・社会・自然などの幅広い分野の学びを実現し、融合的な学知と他者との共創を通じて、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする**「新たな観光価値をデザインする人材」の養成を目指します。**

融合学域観光デザイン学類の概要および入試情報については別紙をご覧ください。

つきましては、取材・報道について、よろしくお願ひいたします。

<本件に関する照会先>

金沢大学融合系事務部学生課

Tel : 076-264-5910

E-mail : new-gakuiki@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学融合学域 観光デザイン学類の概要

■設置時期：令和4年4月1日（学生受入れ）

■養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で、我が国の観光産業の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、Society 5.0や新たな日常に対応し、多核連携型の国際観光立国を見据えた新たな観光価値をデザインする人材

■修業年限・学生定員・学位

- ・標準修業年限 4年
- ・授与学位 学士（学術）
- ・入学定員 15人
- ・編入学定員 3年次15人（令和6年4月）

■キーワード

文理融合（異分野融合）、イノベーション、アントレプレナー、価値デザイン、多様性

■ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

観光価値をデザインするために必要となる多様な知見を身に付けた上で、その知見を活用した思考力・発想力・実践力を獲得する。その成果として、本学類が掲げる人材養成目標及び金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（学術）の学位を授与する。

- ・観光価値をデザインするための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- ・未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- ・課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- ・語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- ・価値創出等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できるよう、課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程を編成する。

専門教育科目には以下の科目群を設ける。

- ・アントレプレナーシップを醸成し、社会展開に向けた発想力と実践力を獲得するために「実践科目」を設け、演習等を中心とした科目を配置する。
- ・知の飛躍に向けて必要となる観光学の根幹と、未来課題に係る多面的な最新知見を修得するために「基盤科目」を設け、科目を配置する。
- ・未来課題の解決に資する知見を獲得するために「学知科目」を設け、さらに3つのコアエリアに区分し、多様な分野の科目を配置する。
- ・国際社会における最新の知見や他者との共創による新たな知見の獲得のために「鍛練科目」を設け、海外留学や国際インターンシップ、プロジェクト開発を行う演習等を中心とした科目を配置する。
- ・修得した多分野に渡る知見を基に課題発見・解決や事業創造を含めた社会展開を主体的・計画的に行うために「確立科目」を設け、手法や理論を体系的にまとめる科目を配置する。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

卒業時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できる資質を有し、次のような意欲ある入学者を求める。

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人

■本学類の特徴

○3 学域の知を結集した文理融合の課題発見型教育課程

融合学域では、人間社会系、理工系、医薬保健系から文理融合型の教育・研究に実績のある教員が結集し、偏りのない文理融合・課題発見型の教育課程を編成する。

<課題発見型教育課程の編成>

「共感デザイン」「関係デザイン」「共創デザイン」の3つのコアエリアに科目を配置し、それを並行学修することにより、未来に起こり得る社会的な変化を幅広く学んだ後、インターンシップ等の経験も踏まえ、経済社会課題の発見に努める。そして、一人一人異なる課題を解決に導くため、オーダーメード型の履修指導を行い、「環境・社会」「人間・自然」の探求エリアのフィールドを往還的に学修（バックキャスト学修）しながら、自身が発見した課題解決の糸口を求め、様々な分野の最新の知見や技術を広く深く探求し、観光価値創出人材の育成を目指す教育課程である。

<Society 5.0 や STEAM 教育も重視した科目配置>

科学技術の基礎となる「数理・データサイエンス基礎及び演習」や、課題発見・解決のプロセスを学ぶ「デザイン思考」等を必修科目として配置している。さらに、「人工知能」や「IoT 技術」等の Society 5.0 を重視した科目、「持続的な観光」、「マーケティング基礎」等の未来課題の解決に向けた様々な分野の科目を配置し、STEAM 教育も重視している。

○新機軸を打ち出す多様なプロジェクトに参画

「観光データ解析演習」、「観光プロジェクト演習」、「アントレプレナー基礎」といった実践科目では、地域のニーズに応え、グループワークで多様な背景を持つ他者との共創を通じて課題探求を実践する。また、「持続的な観光」、「観光 VR・XR」など、最新の観光の知見に加え、「観光ビジネス実践」、「観光実践留学」、「国際インターンシップ」といった、社会実装型演習や海外での学修により実践力を磨く。街なかにはサテライト拠点を整備し、自治体、産業界と連携した演習も予定している。これらの集大成として、融合研究、融合演習又は融合試験で、課題を自ら設定し、新たな観光価値のデザインに取り組んでいく。

■入学者選抜

ダイバーシティ環境構築の一環として、次の「13種類」の学生募集を行う。

【入学定員：15名】

1. 一般選抜

- 前期日程／文系傾斜・理系傾斜 募集人員 文系傾斜8名・理系傾斜5名
- 前期日程／文系一括・理系一括 募集人員 観光デザイン学類へは文系1名・理系1名

2. 特別選抜

- KUGS特別入試／総合型選抜Ⅱ 募集人員 若干名
- KUGS特別入試／英語総合選抜Ⅱ 募集人員 若干名
- 超然特別入試／A-lympiad選抜Ⅰ 募集人員 若干名
- 超然特別入試／超然文学選抜 募集人員 若干名
- 在外留学生推薦入試 募集人員 若干名
- 社会人選抜 募集人員 若干名
- 帰国生徒選抜 募集人員 若干名
- 国際バカロレア入試 募集人員 若干名
- 私費外国人留学生入試 募集人員 若干名

詳細は以下のURL、又はQRコードから確認してください。

入学者選抜要項・学生募集要項（学域・学類）

金沢大学 Web サイト トップ→受験生→入試情報

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/boshuyoko>

本学入試情報スマホアプリ



■本学類Webサイト

融合学域 観光デザイン学類

金沢大学 Web サイト トップ→学域・学類・大学院等→融合学域

<https://innov.w3.kanazawa-u.ac.jp/>